

G 建設候補地及びこれまでの説明不足、今後の説明の徹底に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
16	◎生涯学習施設は町中心部に建設してもらいたい。ワークショップでもその建設場所として、市内中心地（利用者の中には車の運転ができない人も多くいる、高齢者や子どもたちが自転車・徒歩で行けるような場所に建設してほしい。）、中央公民館、旧町体育館跡地、市役所近くなどの意見がでていたと聞く。 ◎町中心部に人が集まる場所があれば、町に賑わいがうまれる。町の活性化につながる。その反対に、自転車や徒歩で行きづらいような離れた場所に建設されたら、最初のうちは人は集まるであろうが（そのうちに足は遠のく？）中心部から賑わいが失われ、ますます町の空洞化が進むことを懸念する。 ◎町体跡地辺りに建設されれば、隣接する中学校も授業の中で利用できるだろうし、小学生も十分活用できるはず。町の将来を担う子供たちの利用度も高まると思われる。 ◎そもそも生涯学習施設の候補地、建設について市行政の説明が全く不十分だと思う。（詳しくは市のホームページを見て下さい云々、これでは説明になっていない。） ◎是非とも市民に直接説明する機会を設けてほしい。こんな状況の中で突然 2 つの記事を目にして大変驚いた。 ①No.85 議会日より （議員）建設予定地として嘉平山が有力候補地になっているが、これは決定なのか。 （市長）「検討委員会」からの賛同を経て、予定地としては嘉平山を最適地と考えている。とのこと。 ※5/25（日）「市民と議会の意見交換会」に出席されていた検討委員会のお一人からは、その会では賛同する意見はでなかったという話である。（市長さんの発言内容とちがう？） ②新潟日報（5/21 付）の記事 あたかも嘉平山が第一候補地になっているかのような記事が載っていた。住民への説明が十分でないにもかかわらず、ほぼ嘉平山に決定したかのような記事内容に驚く。同時に市行政に不信感をもつ。 ◎住民への十分な説明なしのまま、住民が使用する施設建設地が決定されていくことは、住民軽視ではないだろうか。 ◎市長曰く、「嘉平山が長らく遊休地になっているのでその活用方法について様々な意見をもらった」とか、→市民のための施設建設地を考えてもらいたい。 ◎又、7 月には説明会を持つと日報の記事にはあるが、「候補地を嘉平山にする」旨の説明会だとすると言語同断である。しかも、このような重要な事柄なのに、何故、新聞報道で住民が知られることになるのか。更には 25 日出席の議員さんからは「我々もこの新聞記事を見て驚きました」とのこと。かくも重要なことを住民も知らず、議員も知らぬまま決定されていくのか。だれが日報の記者にこれらの（候補地）情報を提供したのか。市長さんの責任で、この日報の記事を白紙撤回していただきたい。 ◎「施設の整備方針」コンセプトには「胎内市ならではの特性を活かした学びや遊びの場」とあるが、胎内市ならではの特性とは何か、嘉平山ではこの特性を活かせるのか。 ◎先日、嘉平山まで行ってきたが、進入禁止のロープがあり、中には入れなかった。地図を見てもかなり広大な土地である。延床面積 4,000 m²程度とあるが嘉平山は広すぎるのではないか。4,000 m²程度とはイメージがわからない。旧町体、公民館跡地では狭いのか。 ◎嘉平山のデメリット ・高台で坂道を登る必要がある。 ・国道 7 号線から見えないし、嘉平山からも 7 号線周辺が見えない。 ・町中心から少し遠い。 ・徒歩、自転車では交通量の多い国道は横断しにくいし、キケンである。 ・整備面積が広く、建設コストが高くなる。 ・インフラ整備のコストが高い。 ・除雪費用が増える。 ・クマ出没の可能性がある。 ・8・28 水害では甚大な被害がでた所である。 是非十分な検討と住民へのていねいな説明をお願いします。

2 回答

【建設候補地について】 ※再掲

胎内市生涯学習施設整備基本構想の策定にあたっては、当時の検討委員会やワークショップを通じて、市民代表の皆様からいただいたご意見を踏まえ、図書館や公民館の機能に加え、多世代や子育て世代の全市民を対象とする施設として検討を進めてきております。

建設候補地につきましては、駅周辺や旧中条体育館跡地といった案も挙がりましたが、たとえば駅周辺は敷地の広さを含め、適切な土地の確保が難しいこと、また旧中条町体育館跡地は今後の統合中学校の建設候補地としても検討されていることなどから、様々な条件を総合的に勘案し、現時点では関沢地内（通称：嘉平山）をあくまでも予定地ではなく、有力候補地として挙げているところです。※基本計画（案）18 頁、「5 建設候補地」参照

建設候補地に関しては、市民の皆様からいただいた多様なご意見を今後も丁寧に受け止めながら、専門的な知見も踏まえて、できる限り多くの皆様にご利用いただけるよう、望ましい方向性を見出してまいりたいと思います。

なお、今後、市民説明会を開催し、市民の皆様からの様々なご意見に耳を傾けながら多様な意見を望ましい方向に集約すべく、市に対して答申を行っていただく組織を立ち上げる予定としております。

【徒歩で行ける場所について】 ※再掲

生涯学習施設は地区住民に限らず、市内全域の市民の皆様にご利用いただくことを前提としております。全ての地域から徒歩でお越しいただけるわけではありませんが、

できる限り多くの方がアクセスしやすい立地となるよう検討を進めてまいります。

また、「のれんす号」の活用に加え、定期バスの運行についても検討してまいりたいと考えております。

なお、生涯学習施設は市民全体の施設として位置づけておりますが、現在の図書館と中央公民館は、これまで主たる利用の実相としては、中条地区の皆様の施設としての役割を果たしてきたものと受け止めており、中条地区においても、乙、築地、黒川地区の地区公民館等と同様に、図書室を併設した公民館的な機能については、既存施設の活用等を含め、その機能を維持していくことを基本方針としております。

【胎内市ならではの特性について】

豊かな自然に囲まれ、静かな環境が整っており、屋外を活用した生涯学習スペースや、子どもたちが遊び・学ぶためのスペースを確保する条件に適している関沢地内の市有地（通称：嘉平山）は、「胎内市ならではの特性を活かした学びや遊びの場を提供することで、地域内外の方々が気軽に訪れることができる施設」というコンセプトに合致しているものと考えております。今後、事業進捗の過程で、より具体について明確にしていきたいと思っております。※基本計画（案）8頁及び基本構想8頁参照

【その他ご意見について】 ※再掲

その他いただいた貴重なご意見は、今後の検討や運営の参考とさせていただきます。